

①What we have experienced

■4月

(吉川・有村) グアテマラ

シエラという町で毎日スペイン語の授業を受講しておりました。一日5時間マンツーマンの授業を受け、基礎文法・会話に重点を置きながら勉強をしていました。また、語学の向上のため有村・吉川の両名がホームステイし、現地の人の暮らしを体感しながら一ヶ月間を過ごしました。

また、取材に関しては JICA グアテマラ事務所 (PROETTAPA プロジェクト) の活動の取材を連日行い、グアテマラの農業開発事情、とりわけそこで生じている諸問題等に関するお話を伺ってきました。



(栗林) アメリカ及びヨーロッパ

アメリカ及びヨーロッパを縦断しておりました。一人旅になり、良い意味で自分の好奇心の赴くまま世界各国を見て回ることができました。4月という一ヶ月だけでも感じたことは本当に沢山あり、ここに書ききれぬようなものではありません。しかし、アメリカ・ヨーロッパにおける都市環境・労働環境・環境に対する考え方など、日本と違う部分を各国で見るにつけ、今まで自分がいかに日本的な価値観の元に生きていたかを強く感じるすることができました。

上記のような学びを元に、次にどのようなアクションにつなげていくのかは自分でもまだ良く判っていませんが、今は学びの時期と考え、自分の感じたことを少しでも発信していけるように活動を続けていきたいと思っております。



■5月

(吉川) 日本への一時帰国

祖父が亡くなったため、2週間半ではあったのですが日本へ一時帰国させて頂きました。

(有村) グアテマラ

一番印象的であるのは継続してのスペイン語学習を通じて現地の人と以前よりも「話す」ことができるということに楽しさを覚えていったことです。以前の私であれば、例えば市場で「これなに？」「いくら？」としかいえなかったところが、「いやー昨日のサッカーの試合すごかったね！」と、自分から話しかけサッカー談義をしたり、バスで出会った青年の生い立ちを聞くことができるようになるなど、「あつこの単語わかる！なに言ってるかわかる！」という実感を持っていることに楽しさを覚え、更なるやる気につながっています。活動としましてはJICAグアテマラ事務所の訪問と取材、観光ではティカル遺跡に行くことができ古代の人々の文明の高さと自然を敬う姿勢に感動いたしました。

。

(栗林)中東・アジア

中東・アジアを縦断しておりました。7月末～8月中旬には吉川・有村と再合流する予定であります。中東という場所は、日本では中々報道が上がってこず、イスラム教や紛争といった怖いイメージがありますが、実際にはその全く逆であり、非常に穏やかで旅人を歓迎する国民性でした。この地域では特に宗教について深く学ぶ事が多くありました。

また、これは非常に個人的な事ではありますが、多くの旅人や現地の人々と自ら交流する中で、日本にずっと居ては育まれなかったであろう価値観を育てる事ができており、これもまた、旅の最中・旅が終わった後に少しずつでも人々に発信していきたいと考えています。



②Where we are

(吉川・有村)

私達は現在グアテマラのシエラ(ケツアルテナンゴ県)に滞在しております。先日無事スペイン語の授業を終え、今後は速度を上げて南下していくことを予定しております。予定としてはここ数日以内にグアテマラを離れ、隣国のエルサルバドル、ホンジュラスに移動します。

(栗林)

ヨルダン・イスラエルへの訪問を先日終えました。現在はネパールのカトマンズ(首都)に滞在しております。

③What we are up to

(吉川・有村)

現在はグアテマラで取りためた取材の映像／写真を編集しながら、新たなコンテンツ作成に着手しております。膨大なデータがあるため少し時間がかかっていますが、6月1週目にこちらの作業を終えるため日々パソコンとむきあっております。

(栗林)

吉川・有村の作成した動画を当 LP ページで公開するサポートをしております。

④Our accomplishment

(吉川・有村)

- ・EVERYNEW 社の小型カメラ Gopro を使用してのイベント「30日間耐久！動画祭り！」の作成と投稿
- ・JICA グアテマラ支部における取材 (PROETTAPA、算数能力指導プロジェクト)
- ・継続した日記の掲載

(栗林)

写真ページのリニューアル、及び30日間耐久動画投稿のサポート作業

⑤Our plans from here

(吉川・有村)

グアテマラを経ち、少しスピードアップをして中米諸国 (エルサルバドル、ホンジュラス、コスタリカ、パナマ) を南下していく予定です。滞在場所に関しては現地との連絡をとりあっている最中ですが、主に6月～7月にかけてこれらの国々をまわる予定です。

(栗林)

6月中旬にはインドに移動し、東南アジア諸国を経て、7月末から8月中旬にかけて、南米で吉川・有村と合流する予定です。

製品に関するレビュー

(吉川)

■Treksta シューズ

履き心地、そして何より4ヶ月間毎日履き続けてもあまり劣化を感じさせないこの靴が大変気に入っています。一番自分自身毎日使っていて驚くのが、ソールの部分です。140日余り毎日履いているにも関わらず底が磨り減ることなく、しっかりとグリップを保っています。また、この時期雨季ということもあり、毎日靴がぬれているのですが、まったく水を内側に入れないため、清潔な状態で靴を保っていることが助かっています。ほとんど今の所外傷はないのですが、私自身の使い方の問題があるのか、踵部分 (内側※上部) の素材の左右の箇所が破れはじめてきています。また、これも個人的な意見なのですが、靴を履いてアクティブスポーツなどをした後は、人差し指が痛むことがよくあります。こちらに関しては今のところ両足でそれを感じており、時々ツメの色が変色することがあります。

■Tiマグカップ400FH蓋付

旅先で自炊をすることが多く、マイカップは大変助かっております。チタン製ということもあり、強い強度のおかげ気にせずバックパックの中に入れたり、使い終わった後はバックパックの外にカラビナにかけたりして持ち歩いています。旅先という観点で、こういった機能があればいいなと思うものを記入させていただきます。①持ち運びが多いので、キャップ部分から飲み物が漏れないような容器があればうれしいです(理由;バスの中や、移動中マイカップを持ち運ぶことが多く、こういった場面で漏れないキャップがあれば便利)。②カラビナにマグカップの取っ手をかけ、鞆の外側にかけることが多いので、マグカップにカラビナがついていれば便利だなと思いました。例えばですが、マグカップの取っ手がカラビナのようになっていれば、それだけでもいろいろな物にかけられるので便利かと感じました。

(有村)

■メリノウール製のTシャツ

このTシャツの性能は素晴らしいと思います。着用された方ならわかると思うのですが、最初に着心地が滑らかで着るのが楽しくなります。また一番優れていると思うのは長期着用しても「臭いがつきにくい」ということです。これまで南米の気候は昼は平均 25 度ほどと動けば汗をかきます。多くの服を持ってきていないためローテーションして着用しているのですが、1 週間程度は洗わなくても臭いを気にすることなく着用できており、機能とデザインの両面で気に入っております。ありがとうございます。

■TATONKA SPEEDBACK 32

これは私にとってなくてはならない存在になりました。当初これを頂き、触ったときの一番の懸念は生地耐久性でした。このバックが採用している生地そのものについて「いっぱい入れて持ち歩いたらすぐに肩とバックのつなぎ目から破れていくんだろうなあ」という思いをもって初め使っていたのを覚えています。しかし毎日パンパンに詰めて歩いているのですが、これまで何の問題もなく使えております。当初懸念しておりました肩とバック本体のつなぎ目の部分もしっかりとしていますし、丸ごと洗ってもこの生地だからなのか速乾性で、非常に重宝しております。ボロボロになるまで愛用させていただきます。一つだけ要望があるとすれば、バッグの両脇についているポケットが荷物を入れたときにホールドさせる機能としてゴムを採用されておりますが、やはり連日出し入れを繰り返すとゴムが緩くなってきております。デザイン上ゴムのほうが全体のイメージがすっきりしているかもしれませんが、機能的にはここも留め具(このバッグにもついている「カチャッ」とできるものです。名称がわからずすみません)のほうが耐久性と機能が向上すると思いました。

(栗林)

■TREKSTA シューズ

自分は街歩き用としてこの登山靴をサポート頂きましたが、長時間(4-6 時間)街を歩くようになって、それでも全く足の裏が痛くならない・疲れない点に感動しています。特に街中とは言え、途上国の場合石畳や地面のでこぼこ、きちんと舗装されていない道路も多いため、この靴を選んで良かったと感謝しています。夏場に入り、やはり蒸れてしまうことや、どれだけ注意しても臭いが少しずつついてしまっていますが、定期的に洗い・乾かし・日干しすることを心がけています。こうしたメンテナンスが一般ユーザーにどこまで浸透しているか判りませんが、素人にとっては、メンテナンスの方法も一緒にガイドしてもらえるとありがたいかも知れません。

■WESTCOMB ジャケット

旅を通してずっと使用させていただいています。寒いときは勿論防風なのでだいぶ寒さをしのぐことができますし、歩いていて熱くなっても脇の下のチャックを全開にすればかなり楽になり、便利だなあと感じています。また、腕についているチャックにはその都市の地図を入れたりしていつでも取り出しやすく、胸の内ポケットには貴重品を入れ、スリに合わないよう気をつけています。本来の使い方とは少し違うかもしれませんが、腕の先端と胸内側のポケットは本当に重宝しています。素材が全体的に硬いので、柔軟な動きには少し向いていないのかなあ、と感じることがあり、そうした場合はパーカーなどに切り替えてしまうため、こうした製品でもう少し柔らかい素材のものがあればとても嬉しい、と感じました。

最後に

これまで旅をさせて頂くことができているのも、ご協力を頂いているお力添えがあるからこそです。

新たにご提供頂いたアウトドア用品を今後フルに活用させていただきます。本当に感謝しております。

これからも益々精力的に活動していく所存ですので、今後とも、なにとぞ、よろしく願いいたします。

ロハスパッカーズ

メンバー: 吉川・有村・栗林

URL: <http://www.lohaspackers.com>
